



茨南だより

3 S

+ 1

NO. 10

察知

誠意

スピード感

改革意欲

2026. 3. 5

新年度に向けて

県南教育事務所長
佐藤 賢信

令和7年度も残り1ヶ月となりました。各校の卒業式や修了式が、子どもたちの「心」に残る素晴らしいものになることを願っています。

多忙を極める年度末ですが、次年度に向けて各々のキャリアステージに応じた構想は立っているでしょうか。今年度のまとめと並行して進めましょう。

最後にコンプライアンスの確保についてのお願いです。

教職員の不祥事が全国的に多数報道されています。本県でも近年例がないほどの事故件数です。皆さんが感じる以上に子どもたち、保護者・地域の方々には「まさか先生が」と衝撃を受けていることでしょう。これが「またか」「やっぱり」となる前に食い止めなければなりません。

まずは、皆さん一人一人が大人として自分を律すること、子どもたちに範を示してください。そして、引き続き同僚性の高い組織づくりと、教職員としての誇りと自覚を高める取組を進めてください。

「不祥事ゼロ」を実現し、子どもたちと教職員の笑顔があふれる学校・信頼される学校づくりをお願いします。



総務課

手当の届出や申告に漏れはありませんか？



扶養手当や通勤手当、住居手当においては届出が遅れると職員本人の不利益が生じるだけでなく、事務職員の業務の負担も大きくなってしまいます。ご自身や扶養親族の状況に変更の予定がある場合は事務職員に早めの申告・相談をしましょう。

また、扶養手当で被扶養者がアルバイト等で収入を得ている場合、月額108,334円以上の収入がある月は、翌月の扶養手当の受給ができなくなりますので、事務職員が確認できるよう必ず毎月の給与明細書等(写し)を事務職員へ提出してください。

令和8年2月7日（土）、ザ・ヒロサワ・シティ会館にて「いばらきっ子郷土検定」県大会が開催されました。

本事業は、中学2年生を対象に、茨城県の歴史や文化、産業への理解を深めることを通して、郷土への愛着と誇りを育むことを目的としています。

当日は、各市町村の予選を勝ち抜いた代表校が一堂に会し、郷土愛溢れる熱い戦いが繰り広げられました。県南地区からは、各市町村を代表する14校（1校5名）が出場しました。予選から準決勝、決勝と進むにつれ、問題の難易度が上がる独特の緊張感の中、どの学校の生徒も日頃の学習成果を存分に発揮し、真剣な眼差しで一問一答に臨む姿が印象的でした。

激戦の結果、河内町立かわち学園とつくば市立竹園東中学校の2校が決勝に進出しました。県内屈指の強豪校がひしめく中、冷静かつ迅速な解答でポイントを重ねたつくば市立竹園東中学校が、見事優勝の栄冠に輝きました。惜しくも敗れた学校を含め、出場した全生徒にとって、地域の価値を再発見し、未来の茨城を担う自覚を深める貴重な機会となりました。



今年度の総仕上げ、そして次年度への架け橋として



この一年間、子どもたちの学力向上のために尽力された先生方に、心より敬意を表します。

いよいよ今年度の総仕上げの時期を迎えました。各校で策定された「学力向上に係る改善プラン」を基に取り組んできた成果を、形にする時です。最後の一月に取り組んでいただきたいのは、県学力診断のためのテストの各校での分析に基づく「課題の焦点化」です。焦点が定まれば、学年の出口で達成すべき力を見極めることができます。自ずと「密度の濃い授業」につながります。

子供たちが「自分はできるようになった」という確かな手応えをもって進級・進学するために、最後まで、質の高い教育活動を展開していきましょう。



今年度の振り返りと来年度の生徒指導の充実に向けて

2月20日（金）～3月13日（金）の期間、生徒指導主事を対象としたオンデマンド研修を実施しています。本研修（約15分の動画）では、県南管内における「いじめ・不登校・暴力行為等」の現状（4月～11月末）を把握するとともに、教科の指導と生徒指導の一体化をはじめとする自校の取組や、今年度作成した生徒指導の充実に向けたプラン等を振り返ります。また、Googleフォームへの回答を通じ、令和8年度の指導計画や体制構築のための点検・整理を行う構成としています。

管理職や各学年の生徒指導担当の皆様にも視聴いただき、「チーム学校」としての生徒指導体制をより強固にする契機としていただければ幸いです。

